

森下さち子ニュース



2012年【12月号】 和歌山市鳴神 1145 の6 TEL(474)6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkm.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113



12月議会が始まります

12月3日から12月定例市議会が始まります。12月は補正議会で

すが、市は来年度(2013年度)の予算編成に向けて、すでにヒアリングなどが行われていきます。夏・秋には各団体などの対市交渉なども旺盛に取り組み、新年度へ予算化されることが切望されています。

そういう意味でも12月議会では来年度予算に対する編成方針が問われます。

共産党市議団は5人それぞれでテーマを分担し、全員が一般質問に臨みます。

インターネットでのライブ中継をご覧頂

く、市役所へ直接来て頂

くなど議会の模様をぜひ

傍聴してください。併せて、共産党市議団へのご

意見・ご要望もお寄せくだ

さい。

あつという間に師走へ突入です。おまけに解散総選挙！そして12月定例議会、まさに師も走る月ですね。気持ちがますます焦ってしまうので、そこはドン！と構え、けがや事故などのないよう無事に年を越したいものです。

政治の中身も解散総選挙というチャンスを超最大限に生かし、今度こそ、アメリカ言いなり、財界優先の流れを変えて、原発もオスプレイもない安心して暮らせる日本へと舵を切ろうではありませんか。

みなさんのお力添えを心よりお願いいたします。



生協芦原診療所50周年記念レセプション

「この街に生きる」と題して11月11日に開催された、芦原診療所50周年記念レセプションに招待を受けました。

芦原診療所は1962年6月、医師、看護助手、事務の3人体制で始まりました。当時、芦原地区は県庁所在地の中心部にありながら、劣悪な環境におかれ、開業医も薬局もない無医地区でした。



1961年に襲来した第2室戸台風が低湿地の芦原地域に床上・床下浸水をもたらし、中之島診療所の医療チームが医療救援に行ったことも大きなきっかけとなり、日常的に地域住民の命と健康、暮らしを守る医療機関が欲しいという願いが高まったそうです。多くの方々の情熱とご努力で作られてきた診療所。関わった方々の思い出話を聞くと50年という年月は本当に重いと感じました。

私自身も毎年の検診をここで受けています。芦原診療所の存在はいつでも安心して駆け込めるところ。これからもその安心感は変わりません。

日本共産党

衆議院和歌山1区予定候補



くにしげ秀明です

「日本は核兵器に関するシミュレーションをやるべきだ」(石原慎太郎・日本維新の会代表)、「国防軍を創設する」(自民党の政権公約)など、日本国憲法を敵視する動きが露わになってきました。

石原氏は19年前、憲法9条の全面改定や天皇元首化などを盛り込んだ改憲草案をまとめたことがあるほか、憲法無視の発言を繰り返している名うでの改憲論者です。橋下・維新の会代表代行も、憲法は全て変えるとのべています。

自民党はことし4月の改憲案で、「国防軍」をすでに打ち出し

ていました。

改憲は、国民生活全般にも関わる重大問題です。

この動きは、絶対に阻止しなければなりません。



11月11日、原爆ゼロを訴える集会(京橋で集会・ぶらくり丁でアピール)に市議・県議のみなさんと参加しました。



こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



いよいよ総選挙が始まります。12月4日公示、16日投票ですが、5日から事前投票が始まります。マスコミは、今回の選挙の争点は選挙後の政権の枠組みがどうなるか、民主政権の存続か、自・公の復活か、はたまた石原・橋本の野合連合がどこまで食い込むのか、といった論調です。しかし、国政選挙というのは、政権の枠組をどうするのかではなく、くらしの実情からみて今後の政治の中身や国の行く末をどうしていくのか、が問われるべきではないでしょうか。

民・自・公はすでに3党合意を結び、消費税増税と社会保障改悪の道をひた走り、原発の存続、国内農業や保険医療制度を崩壊に導くアメリカとの市場統合（TPP）や戦争できる国づくりをめざすとしています。マスコミが第3極ともてはやす石原・橋本軍団もやろうとする政治の中身は同じで、憲法廃棄、核兵器の保有とより極端なものとなっています。

今、国民の世論は消費税増税の中止、原発の即時廃止、TPPへの参加はノーの声が多数を占めています。日本共産党はその国民の声を政治の場で実現すべく皆さんといっしょに行動しています。この党をぜひ大きく躍進させてください。



11/6 満員だった小池晃さんを迎えての演説会。清水ただしさん(近畿ブロック比例代表予定候補)、国重秀明さんも弁士として登壇。司会は藤井、森下が務めました。

前県会議員
ふじい健太郎

<お知らせ>

— 第5回「なんでも相談村」—

12月8日(土) 10時～15時

和歌山城西の丸広場



働くルール、借金の整理、年金、生活保護、医療・介護・法律等々相談は無料、当日炊き出しもあります。

この活動は実行委員会で実施されています。ボランティア大歓迎！カンパや衣類の提供もお願いしています。

詳細は実行委員会事務局 436-3520へ

.....✿.....✿.....

— 無料法律相談 —



昼間：毎週金曜日(祝日は除く)

13:30～16:30

夜間：毎週木曜日(祝日は除く)

17:30～19:00

相談は無料ですが、予約が必要です。相談希望日の前日までに事務所へお電話を。

ゆら・山崎法律事務所 TEL.433-5551

.....✿.....✿.....

— 記念講演会 —

12月7日(金) 19:30開演

中央コミセン3F多目的ホール 入場無料

「貧困の連鎖を断つために」岩重佳治弁護士

日弁連貧困問題対策本部委員、中央区

自殺対策協議会委員)

問い合わせ：和歌山クレジット・サラ金問題

対策協議会 TEL.433-2244

.....✿.....✿.....



チケットあります。



☆一般3000円

☆障害者・中高生2500円

☆小学生2000円

日本共産党市会議員団

435・1113まで

何よりも映画をまだ見ておられない方、ぜひ舞台をご覧ください。私たちのふるさと和歌山市の物語でもあるのです。

「ここで描かれる「ふるさと」とは、「障害のある人もない人も、年齢や職業や立場を超えて絆を結び、共に暮らし、子どもたちの健やかな成長を見守り支える地域のことで」と実行委員長の山口裕市さんはおっしゃっています。

舞台の内容は、障害者の共同作業所の設置を巡って地元住民の偏見や葛藤を軸に、人と人との関わりが地域の住民を変えていく、そんな物語です。作、演出とも映画と同じジェームス三木さんですが、映画と舞台ではまた違った描き方になるのではないかと楽しみにしています。



2007年に制作された映画「ふるさとをください」が、今年12月9日(日)(午後3時開演)に舞台演劇として上演